

女性チャレンジ応援拠点だより ²⁰²¹ 7月

〇●〇●〇 コラム【2021年後半、今年の実りに足掛かり！】〇●〇●〇

7月に入りました。1年延期された東京オリンピック・パラリンピック開催も目前です。本来なら競技に関心が集まるころですが、感染状況がどうなるかが気になるころです。大きな変化がないことを願いつつ、ひょっとすると…ということも視野に、チャレンジをめざすみなさんは今年後半の動きをスケジュールリングしていきましょう。状況がどうなっても、あまりうろたえず、事を進められるようにしておきたいものです。



人によっては、来年春先までも含めて考えたほうがいいのかもありません。後半の動きが新しい出会いや機会を運んでくれ、来年につながる可能性もあります。今年秋の実りが来年春先の糧になる、そんな流れになればいいですね。

さて、7月の『チャレンジする人のニューノーマル』は、「**本業+アルファまたは2つの本業、必須?!**」をテーマに考えてみたいと思います。

AI・人工知能が人間を超えるといわれる「シンギュラリティー」、その時期は2045年と予想されていますが、おそらく10年ほどは早まると思われます。5月末の新聞に「言語AI」の活用が急速に広がっていると紹介されましたが、ブログ作成から文字による会話まで、ごく自然にこなすほどになっているそうです。

1990年代初めにインターネットが日本で広がり始めた頃、「これからは誰でもが情報（インフォメーション）を簡単に収集できるようになる。だからこそ、個々の知（インテリジェンス）に焦点があたる」といわれたものです。

それから30年、さらにこれからは、知も含めた個々の人間そのもの、他の誰でもない自分、自分自身の在り方、一言でいえば、「アイデンティティー」に焦点をあてざるを得なくなるのではないのでしょうか。

チャレンジ応援拠点での例を挙げると、“資格の一つぐらいは…”という気持ちで「キャリア・コンサルタント」を取得したという相談。けれど同業他者は山ほどいますから、その中に埋没してしまいます。一方、「キャリア・コンサルタント」であるのは、自分なりのワケがあって、それを最大限にいかして活動していきたいとすれば、それはそれで、同業他者から頭一つぬける〈何か〉が必要になりはしませんか。

例えば、あるテレビ局の夕方の番組に出ている気象予報士の方は絵が得意。もともと天気予報の説明でも専門用語の意味をかみくだいて教えてくれる細やかさがあります。そこにさらに絵で明日の予報を描いてみせて、「一目瞭然」と「親しみ」を視聴者に伝えて安定した活躍ぶり。また他の局の気象予報士では独特のストレッチ体操で最近注目されているとか。

精神科医で作家、体操インストラクターでイラストレーターといった2つの本業の方もいます。2つの業が互いに大きな相乗的効果となり、それぞれの業の中では一線を画す活躍をされている人もいます。

ともあれ、本当にやりたいこと=本業としたなら、その本業を際立てるために、他の何らかの専門性や知識、特技、スキルが必須となり、相乗的な効果で、その人ならではのチャレンジぶり、仕事ぶりへとつながり、そのうち、他の人の目にとまるところとなり、やりたいことが実現できる流れになる…、いかがでしょう。

といったところで今回はここまでとして、これからの時代は特に自分自身をどうマネジメントしていくかが大切になってきます。「女性チャレンジ応援拠点」は、みなさんのその奮闘を後押ししています。緊急事態宣言解除後、再び開室しておりますので、どうぞご利用ください。みなさんの来室をスタッフ一同、お待ちしております。

〇●〇●〇 感染対策をして開室しています〇●〇●〇

同時入室6名までとして、通常通り開室しています。初めての方もお久しぶりの方も、お気軽にお越しください！

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

